

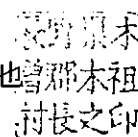


木 建 第 4 3 1 号

平成20年10月14日

国土交通省道路局長 殿

木祖村長 栗 屋 徳 也



今後の道路行政についての意見・提案について（提出）

平成20年9月19日付国道企第37号にて依頼の標記については、別紙のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

長野県 木祖村

○真に必要な道路は着実かつ短期間に整備をされたい。

○道路関係の公益法人や道路整備関係の特別会計関連の無駄な支出は極力排除されたい。

○地方道路整備臨時交付金等各種手続きの簡素化を図られたい。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える問題

長野県 木祖村

○現状

国道 361 号権兵衛トンネルの整備により、今まで遠いと考えられていた伊那谷まで木祖村から自動車です約 40 分程度になり生活圏が広がった。また、木祖村へのアクセス方法が 1 つ増えたとも言え、中央道から権兵衛トンネル経由で木祖村に入り上高地方面へと流れる交通量も増加することが予想される。しかし、上高地方面への最短ルートである主要地方道奈川木祖線は一部未改良区間があり、大型バスのすれ違いが困難な個所がある。

また、木祖村の生命線ともいえる国道 19 号は、雨量規制区間の存在、事故発生時の長時間の通行止め、通称「木曾高速」とも言われる夜間の大型トラックの高速通行等の実態がある。

○課題

主要地方道奈川木祖線は、国道 19 号の通行止時の迂回路としても重要な道路として位置づけられ、未改良区間の整備を促進してゆく必要がある。村道についても、集落内道路や橋梁の老朽化した個所について順次改良を行う必要がある。

国道 19 号については、防災面や、県道との交差点改良等による大型車の事故抑止など、安心・安全な村づくりを進める上で改良を促進する必要がある。

今後の道路行政についての意見・提案

②－２ 地域の目指すべき将来像

長野県 木祖村

- ① 木祖村の生命線である国道 19 号の更なる整備・改良を促進するとともに、国道の代替道路としての木曾川右岸道路についても推進をする。
- ② 地域の活性化・産業振興・源流の村の P R と、防災拠点等の機能を併せ持った道の駅的な施設を検討する。
- ③ 権兵衛トンネルの整備により国道 361 号が新たな幹線道路となった。未改良区間の改良促進の取組みを進め、災害時などの対応力の強化を図り、安心・安全の村づくりを進める。

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

長野県 木祖村

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化 ・地域活力の向上	・国道 19 号の雨量規制区間の解消 ・主要地方道奈川木祖線の改良促進 ・村道橋梁の長寿命化、村道の改修	・災害時の物資輸送路の確保 ・首都圏、中京圏と国道 158 号とを結ぶアクセス道路として、また国道 19 号の代替道路、地域の生活道路として経済、文化に大きな影響を及ぼす。 ・生活に密着したライフラインの確保	